



5



①門林栗園の栗。つやのある栗ほど甘みが強いという
②19年前に会社を退職して、本格的に農業を始めたという門
林さん ③大粒なので渋皮煮やマロングラッセにもぴったり
④広大な栗園にある栗の木 ⑤遠足の後に子どもたち
から送ってきたお礼の手紙などは今も宝物にしています

4 1

毎年500人以上の小学生が
栗拾いに訪れるという門林栗
園(岩瀬)の門林伸伍さんが栗
園を始めたのは40年ほど前。奥
さんのトシミさんの知り合いが
浜寺など海側に住んでいる子ど
もたちを連れて来たことがきっ
かけ。それ以来毎年7～8校の
小学生が同園で栗拾いを楽し
んでいます。「都会の子どもた
ちは、栗拾いが珍しいのか、喜
んで帰ってくれます」というト
シミさん。遠足の後には子ども
たちから、お礼の手紙や作文、
詩などが届き、中には小学校6

詩などが届き、中には小学校6
年間で、栗拾いが一番思い出に
残っているという小学生も。
以前から栗の栽培が盛んだっ
たという同地域は、「赤土の土
壌で、斜面のため水はけも良く、
栗の生育には適しています」と

かわちなかの ものづくり探訪

Made in Kawachinagano

作

25

創

栗拾いで子どもたちに 楽しい思い出を

門林栗園



門林栗園

「農作業で体を動かし、頭を使うことで心身ともに健康です」という門林ご夫妻。
栗の販売場所 あぐり河内長野店
かけてくるで河内長野店
栗の販売時期 9月中旬～11月中旬
※問い合わせは産業観光課へ

最近ではあると納税の返礼品としての需要に応えるため、新木を増やしているのだとか。

こだわりは農薬を極力使わないことで、7～8月の時期に2～3回の使用に留めます。また、除草剤は一切使わず、すべて草刈り機で雑草の処理を行うこと。

これまでの栽培で大変だったことは、夏の台風で栗の実が大きくなる前に落ちてしまつたこと。逆に雨が降らず、乾燥しきて実が落ちてしまつたことも。最近ではイノシシの被害も多く、

「毎年秋になると当園の栗を楽しみにしている人がたくさんおられることが嬉しい」という伸伍さん。そして、「小さい子どもが喜んでいる姿を見ると元気になります」というトシミさん。「ご夫妻は栗拾いを通じて人と人とのつながりや、ぬくもりを感じることで栗栽培の原動力をもらっているようです。



▲河内長野市産品ブランド、
奥河内ながの foodo 認定品の
「萩原の栗」(栗園がある地域はかつて萩原とよばれていたとのこと)